

もくじ

1 年頭のごあいさつ 加古川商工会議所 会頭 山本 亜也夫

2 新年ごあいさつ 加古川市長 岡田 康裕

4 特集 年男・年女に聞く ～今年の抱負～

9 エッセイ 「加古川の魅力を全国へ…  
ONE HYOGO かこがわ大会を終えて」  
(株)26WORKS 代表取締役 中野 二郎 さん

11 会議所のうごき 「歴史と自然が織りなす智頭の秋」  
- 会員交流バス旅行を開催 - 他

13 団体だより 異業種交流会

14 会議所からのお知らせ 各種検定試験のご案内 他

15 謹賀新年名刺広告

20 会議所カレンダー 「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



今月の表紙  
『Cento Cuore HARIMA  
(チェントクオーレハリマ)』

事業所データ

◆代表者

チームオーナー 岡本 篤  
チーム代表 大塚 靖治

◆所在地

加古川市神野町神野375番地の1

◆HP



◆表紙写真

- ①ホームグラウンドの日岡山公園グラウンドにて撮影。
- ②日岡山公園での試合はムサシオープンデパート朝市と連動し、大人気コンテンツに成長！
- ③チームオーナー（㈱ムサシ 代表取締役社長）の岡本さんとチーム代表の大塚さんにお話を伺いました。
- ④Jリーグ昇格を目標に、日々の練習に励む選手たち。
- ⑤初心者の方も大歓迎！ スクール・アカデミー活動も行っています。
- ⑥地域と共に歩むクラブ、未来を走る選手たちに声援を！（写真：18番 花井 聖 選手）

今月は播磨地域をホームタウンとするサッカークラブ「Cento Cuore HARIMA（チェントクオーレハリマ）」の皆さんに登場していただき、チームオーナーの㈱ムサシ代表取締役社長 岡本篤さんとチーム代表の大塚靖治さんにクラブの歩みやこれからの展望についてお話を伺いました。

同クラブは1976年創設の歴史あるクラブで、2020年に現在の名称に改称されました。イタリア語で「チェント100」「クオーレ100」を意味し、苦しい時期を多くの方々に支えられてきたことへの感謝が込められています。また、「たくさんの方々の心が一つに集い、兵庫・播磨を代表するクラブへ」という想いや、Jリーグ百年構想の理念の実現を目指すという意味も込められています。

今オフの加入希望オフアワーは例年の約5倍に増加。選手間でも、その強い結束力や、底力の強さ、地元サポーターの熱量などが評価され、将来性のあるクラブとして注目されています。

「加古川には何も無い」という声を聞くたびに「そんなはずはない」と奮い立った岡本オーナー。加古川には誇れるものがたくさんあり、選手たちが人生をかけて挑むサッカークラブもある。その魅力を堂々と示すため、クラブを加古川の魅力の一つとして位置づけ、オーナーとなって地域と共に歩んできました。グラウンドを囲むように朝市を開催し、今では朝ご飯を楽しみながら観戦できると多くの利用客で賑わいます。ホームゲームの平均観客数は1,000人に達し、上位リーグでもなかなか見られない程の驚異的な動員数となっています。

所属選手の多くは働きながら競技に取り組み、午前中は練習、午後からは仕事という多忙な生活を送っています。実業団ではないため、引退後や移籍後の職業が保障されているわけではありません。大塚代表自身の経験から、選手たちの不安軽減策の一つとして「地域全体で雇用する」ことを目指し、地域企業に協力をお願いして、現在7社で選手たちを雇用しているだけだといいます。「選手がサッカーをしていて良かったと思える環境を、これからも継続して作りあげたい。厳しい環境でもサッカーに懸ける「スポーツマン」としての生き方に地域の理解と応援を得たい」と語ります。

「今すぐ見に来ないと間に合いませんよ。きつと一生の思い出になるはずですよ」。岡本オーナーの言葉には、クラブ全体の想いが込められています。J1に昇格し、2万人の大観衆の前で試合をしたい……。その目標に向かって成長していく過程を、地域の皆様と一緒に楽しみ、サッカーを通して日常の価値を少しでも高めたいと願っています。昨年の感動を胸に、さらなる驚きと感動を。ぜひ、今季もチェントクオーレハリマの挑戦にご注目ください。